

京都市多文化施策懇話会

2013年10月10日

京都市地域・多文化交流ネットワーク事業



東九条全景

030805

	1995年			2000年					2005年				
	総数	外国籍	割合	総数	外国籍	割合	65歳以上		総数	外国籍	割合	65歳以上	
南 区				97,820	6,083	6.2%	16,326	16.7%	98,193	5,649	5.8%	18,857	19.2%
山 王	4,304	744	17.3%	3,898	608	15.6%	1,126	28.9%	3,930	538	13.7%	1,188	30.2%
下殿田町	57	2	3.5%	47	1	2.1%	10	21.3%	45	1	2.2%	12	26.7%
上殿田町	218	9	4.1%	169	4	2.4%	67	39.6%	201	8	4.0%	60	29.9%
中殿田町	586	47	8.0%	512	32	6.3%	151	29.5%	480	22	4.6%	141	29.4%
東山王町	216	31	14.4%	181	35	19.3%	65	35.9%	173	20	11.6%	67	38.7%
南山王町	494	112	22.7%	460	98	21.3%	96	20.9%	649	94	14.5%	135	20.8%
西山王町	171	5	2.9%	271	4	1.5%	52	19.2%	344	16	4.7%	54	15.7%
西岩本町	520	56	10.8%	526	62	11.8%	207	39.4%	464	53	11.4%	225	48.5%
東岩本町	601	140	23.3%	471	94	20.0%	139	29.5%	348	82	23.6%	117	33.6%
南岩本町	132	36	27.3%	81	25	30.9%	25	30.9%	119	23	19.3%	51	42.9%
北河原町	401	39	9.7%	318	37	11.6%	82	25.8%	245	34	13.9%	84	34.3%
南河原町	185	106	57.3%	143	83	58.0%	40	28.0%	118	68	57.6%	40	33.9%
北烏丸町	451	59	13.1%	420	51	12.1%	130	31.0%	409	43	10.5%	130	31.8%
室町	272	102	37.5%	299	82	27.4%	62	20.7%	335	74	22.1%	72	21.5%
陶 化	5,708	1,477	25.9%	5,437	1,290	23.7%	1,078	19.8%	4,936	1,081	21.9%	1,173	23.8%
上御霊町	314	25	8.0%	313	25	8.0%	69	22.0%	394	33	8.4%	83	21.1%
中御霊町	448	22	4.9%	421	13	3.1%	111	26.4%	373	11	2.9%	123	33.0%
東御霊町	550	114	20.7%	479	85	17.7%	115	24.0%	431	70	16.2%	112	26.0%
東札辻町	209	17	8.1%	181	16	8.8%	34	18.8%	148	13	8.8%	35	23.6%
中札辻町	274	28	10.2%	237	22	9.3%	70	29.5%	213	23	10.8%	72	33.8%
宇賀辺町	702	208	29.6%	657	207	31.5%	146	22.2%	596	171	28.7%	146	24.5%
柳下町	796	335	42.1%	795	284	35.7%	136	17.1%	606	193	31.8%	130	21.5%
北松ノ木町	675	252	37.3%	551	202	36.7%	108	19.6%	529	150	28.4%	116	21.9%
南松ノ木町	1,399	369	26.4%	1,371	275	20.1%	182	13.3%	1,183	251	21.2%	238	20.1%
河西町	341	107	31.4%	319	75	23.5%	66	20.7%	316	75	23.7%	59	18.7%
東松ノ木町	—	—	—	113	86	76.1%	41	36.3%	147	91	61.9%	59	40.1%
東 和	8,151	733	9.0%	7,755	723	9.3%	1,433	18.5%	7,707	750	9.7%	1,593	20.7%
西九条東島町	2	x	x	20	7	35.0%	2	10.0%	44	6	13.6%	1	2.3%
西御霊町	221	4	1.8%	222	6	2.7%	72	32.4%	200	3	1.5%	65	32.5%
烏丸町	250	4	1.6%	226	10	4.4%	78	34.5%	236	7	3.0%	80	33.9%
南烏丸町	1,336	137	10.3%	1,057	129	12.2%	150	14.2%	1,031	139	13.5%	180	17.5%
明田町	785	70	8.9%	805	70	8.7%	119	14.8%	753	69	9.2%	137	18.2%
西明田町	554	47	8.5%	590	49	8.3%	119	20.2%	515	49	9.5%	125	24.3%
西札辻町	446	43	9.6%	394	39	9.9%	102	25.9%	349	25	7.2%	94	26.9%
石田町	461	20	4.3%	404	16	4.0%	111	27.5%	406	25	6.2%	110	27.1%
南石田町	543	58	10.7%	493	56	11.4%	107	21.7%	440	53	12.0%	140	31.8%
西山町	441	67	15.2%	547	54	9.9%	84	15.4%	538	47	8.7%	100	18.6%
西河辺町	805	55	6.8%	754	57	7.6%	91	12.1%	790	57	7.2%	121	15.3%
河辺町	246	42	17.1%	234	51	21.8%	60	25.6%	345	88	25.5%	77	22.3%
南河辺町	697	77	11.0%	726	91	12.5%	69	9.5%	909	103	11.3%	110	12.1%
松田町	786	87	11.1%	774	70	9.0%	166	21.4%	628	71	11.3%	155	24.7%
南松田町	33	x	x	30	3	10.0%	11	36.7%	33	2	6.1%	10	30.3%
下殿田町	545	22	4.0%	479	15	3.1%	92	19.2%	490	6	1.2%	88	18.0%
崇 仁	2,662	58	2.2%	2,269	50	2.2%	676	29.8%	1,689	38	2.2%	649	38.4%
川端町	361	1	0.3%	383	1	0.3%	105	27.4%	327	1	0.3%	109	33.3%
屋形町	523	43	8.2%	464	38	8.2%	84	18.1%	247	32	13.0%	76	30.8%
郷之町	258	5	1.9%	197	2	1.0%	85	43.1%	126	-	-	60	47.6%
上之町	322	4	1.2%	274	3	1.1%	119	43.4%	149	1	0.7%	83	55.7%
下之町	630	1	0.2%	478	4	0.8%	130	27.2%	477	4	0.8%	156	32.7%
東之町	146	1	0.7%	109	2	1.8%	32	29.4%	90	-	-	39	43.3%
西之町	210	2	1.0%	185	-	-	48	25.9%	155	-	-	65	41.9%
小稻荷町	212	1	0.5%	179	-	-	73	40.8%	118	-	-	61	51.7%

1950年代の下京区屋形町の状況



1950年代の下京区屋形町



東九条の仕事



屋形町時代の希望の家



希望の家の事業(1960年代)



東九条

むろん、広い意味での東九条は、幣界地帯ばかりではない。商店街もあれば、一般住宅地もある。が、同窓社大学で社会問題調査を担当する小倉善一教授は、こういう。「京都市全体からみると、東九条は生活面、文化面で隆盛しており、幣界地帯を生みだす問題性を持っている。幣界地帯は、その問題性の最も鋭くあらわれた部分だと。従って、ここに取り上げた、東九条」とは、一般にその名で呼びならされている「幣界地帯」にほかならない。

× × ×

東九条でひとりの住居だけではない。住民も、極度に貧しい。

高瀬川のそばに住む老人(女)は、福井県出身。十三の年、京都市内の友せん工場に勤める。が、十年前、四十歳で勤めたその工場が閉鎖になって、ここへ来た。肝臓が悪く、妻もノイロ

ーゼ気味。生活保護特待に支給される医療費で医師に通う。実の子は先に、養女は数年前、家を出て行方わからない。四畳半の部屋に暮らす生活の各列り、難だが、運の生活の各列り

670920朝日②

病気や失業で転落 明るさを忘れた表情

をこめて。近頃の最悪の部屋との構成

留米兵のオノリ。金づかいが痛いといつては、夫婦げんかが断えない。「アメリカさんとのせいたくの味が忘れられんや」と、近所のろわき。

④番殺虎に勤める中年の女。娘と二人暮らし。

⑤夫は工職。脳を自慢するが仕事に出、ゴラゴラしていることが多い。妻はある研究所の動物飼育係。子ども三人とも父母が通う。

住民に共通しているのは、表情に明るさの乏しいことである。姫路出身の廃品回収の女(三)に、身の上話を聞

く。——下の子が、まだ生れ

て三月のときや。市から月々一千円の乳代(生活保護家庭の乳児に対する人工栄養加給)をもちてたが主人がみんな持出して、パチンコですってしまたんが。私は、乳が出んよつてに、巡査にみつかりましてな。それから市に泣きついて、乳代を繰けてもらいました。でも、主人は小馬鹿で足が強い。気の毒な人やつた。いっしょにバタ車をひいていましたが、体が不自由なうす。こんなとがあつて気がむしゃくしゃしたか、それから家を飛び出しました。その捨てた。乳代を止めるといわれた。それでこの子をもつと、おえ人にもつてもろたらと思つて、京都駅裏の随所に隠しましたんや。ところが、巡査にみつかりましてな。それから市に泣きついて、乳代を繰けてもらいました。でも、主人は小馬鹿で足が強い。気の毒な人やつた。いっしょにバタ車をひいていましたが、体が不自由なうす。こんなとがあつて気がむしゃくしゃしたか、それから家を飛び出しました。その捨てた。

その住人

乳を飲まされへん。子どもはおながすいて泣く。隣とはベニヤ板の障だけやから、盗音が近所へもつ抜け「寝られへん」とボロカスにどなられる。そのうえ、パチンコ代に使った

てまじした子が、いまはもう六年生。大きゅうなつて「かあちゃん、こんなとにいるの、かなわんわ。学校へ行つても恥ずかしい。はよ、出ていくな」といいますねん。子どもにいわせるのは、なによりつむおます。



建てつけの悪い、狭い居間。親子五、六人で寝る家はザラだ(京都市南区高瀬川ぞいで)

東九条

⑧

密集地帯の児童公園をのぞく。市内では、あまり姿を見かけなくなった紙芝居屋が、ここにはいた。子どもたちが群がっている。自転車の場合には、色あせたマンガ。だが、子どもたちのお目当ては、べったりソー

す、気楽で一番安定していると思っている。一般社会にはちうとしても、就職口を閉ざされ、差別される。こうして生活の向上を

就職口も閉ざされ

無気力に追込む生活保護

務の講習の奨励もある。また、生活扶助基準額が三万四千九百八十円、一万二千円は商品回収による収入と認定され、残り平等な保護を受ける権利を有する。だが、この密集地帯には、

二重の壁

十円玉を出す。「この子どもは金の使いようが流うおまつせ。水揚げはこれで六百円」と、おじさんは小さなお得意さんの頭をなでた。

廃品回収をする主婦の多くは子どもに肩メシ兼おやつ代を五十円程度渡す。夕方、獲物をひいて帰ると、待ちわびた子が日当から十円、二十円とせびってはまた散っていく密集地帯の子どもたちは、親のコントロールを離れたカギっ子なのだ。公園の前に、社会福祉事業団体「希望の家」がある。所長のジエームス・ニシムタ神父「これは、こんな情状に心寒い思いをする。」「おとなも、子どもも、あすのために貯えよう」とい。この春にがれいといと隣じ

この地帯の改良は、とても一筋ナワですまされそうにない。

たとえば——密集地の改良は緊急不可欠である。しかし、家を鉄筋化しただけでは、いまの平面スラムを立体化するにすぎない。住人たちに自動車免許を

自動車の免許をとりたくても字を満足に読めない、書けない人がなると多いことか。雪技がうまなくても、ペーパーテストには「働いても、働かなくても同合格」じゃない。だから、読み書き。働くのはバカらしいので、きに始って、生活指針をふくめ「家で寝てるんや」といった。春た総合的な施策が必要になる。それに、生活保護の建前に聞

い。か。とてはな

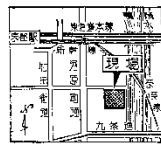
×××
世界人
権七条
すべて人
は、法の



紙芝居のまわりには子どもたちがいっぱい（京都市南区の児童公園内）



吹き出す黒煙 風下がりアパートなどを焼く猛火（下京区屋形町）



「この火は、先づ、このアパートの二階から始まりました。二階の部屋は、ほとんど全焼しました。火は、二階から一階に、一階から地下に、地下からまた一階に、と、上下に広がりました。火は、二階から一階に、一階から地下に、地下からまた一階に、と、上下に広がりました。火は、二階から一階に、一階から地下に、地下からまた一階に、と、上下に広がりました。」

「この火は、先づ、このアパートの二階から始まりました。二階の部屋は、ほとんど全焼しました。火は、二階から一階に、一階から地下に、地下からまた一階に、と、上下に広がりました。火は、二階から一階に、一階から地下に、地下からまた一階に、と、上下に広がりました。」

「この火は、先づ、このアパートの二階から始まりました。二階の部屋は、ほとんど全焼しました。火は、二階から一階に、一階から地下に、地下からまた一階に、と、上下に広がりました。火は、二階から一階に、一階から地下に、地下からまた一階に、と、上下に広がりました。」

8むねを全平焼 200人、命からがら脱出

密集地、猛炎攻め 下京の屋火事

700811

「この火は、先づ、このアパートの二階から始まりました。二階の部屋は、ほとんど全焼しました。火は、二階から一階に、一階から地下に、地下からまた一階に、と、上下に広がりました。火は、二階から一階に、一階から地下に、地下からまた一階に、と、上下に広がりました。」

京都・東九条

(佐々木 善雄記者)

住宅環境 改善急げ

調査の大学教授ら行政の怠慢指摘



今朝調査のきっかけとなった57年2月16日の火事。3人が焼死した「東九条」のアパート

「燃え草の上の生活」

「東九条」にある町の一角。一棟の六層のビル。東九条の中心、四角の比較的広い敷地に、七、八層のビルが立ち並び、その間に、古い工場の建物が残っている。その一角に、燃え草の上で生活する人々がいる。その一角に、燃え草の上で生活する人々がいる。その一角に、燃え草の上で生活する人々がいる。



東九条	東九条	東九条	東九条	東九条	東九条
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

「今度は建物 道整備」

意気込む市を住民注視

市は、燃え草の上で生活する人々の生活環境を改善するために、建物と道路の整備に取り組んでいる。住民は市の方針に注目を集めている。

人口増加のペースは、昭和四十一年の調査で、平均して、一戸あたり、二、三戸の増加が見られる。これは、昭和四十一年の調査で、平均して、一戸あたり、二、三戸の増加が見られる。

再開発の波、及ばず

再開発の波、及ばず

再開発の波、及ばず

再開発の波、及ばず

再開発の波、及ばず

再開発の波、及ばず

再開発の波、及ばず

再開発の波、及ばず

再開発の波、及ばず

ルポ 南区の東九条

く進めている市街地再開発計画と地価高騰のあたりと見られる。「なぜ、弱いものをこまかで」と住民は嘆く。しかも、近くの幹線道路を選挙カーが走ることはあってもこの路地裏にまで入って来ることはない。そこは政治からも選挙運動からも「死角」になっているように見えた。

かまへり立ち退きを迫られて
いた。「なんで私ら獨り者はっ
かりを追い出すんやろ。十五年
前にいちゃんに死なれてしも
こへ來た。もう、よそへ行きな
まて家族はだれもおらんまに
くない。ゆつくり生活したい」

私ら助けしてくれる人を

’90
総選挙
京都

弱者追いたてる地価高騰

いた。この家にも去年八月、
 今更になつた。立ち退き
 追はれてゐた。出さな
 出さな。出さな。出さな。
 別の家を訪ねた。朝の早
 古い木造家屋が、中はバ
 トになっていた。エプロン
 老朽化した民家の周辺には
 空地が立ちあがった。
 東京都南東九条で

老朽化した民家の周辺には
空き地が目立ち始めた
— 京都市南区東九条で



「地上げ問題」も浮上

「ガマン限界」

東九条の住民

市に地上げ対策請願 居住権守って

京都市によるJR京都駅南口の市街地再開発計画などが引き金になった地上げ攻勢に脅かされている住民が立ちあがった。南区東九条東岩本町など四町の住民でつくる「東九条改善対策委員会」が十七日、三千八百六十五人の署名を集め、対策を求める請願書とともに京都市に提出した。「東九条」では劣悪な住宅環境に人口が急減して高齢化世帯が増える一方で、京都市の施策は大きく立ち遅れている。そして、市の見通しの甘い再開発計画の余波で「地上げ」の被害を受ける住民らの不安は高まるばかりで、「東九条を守る」と訴えている。

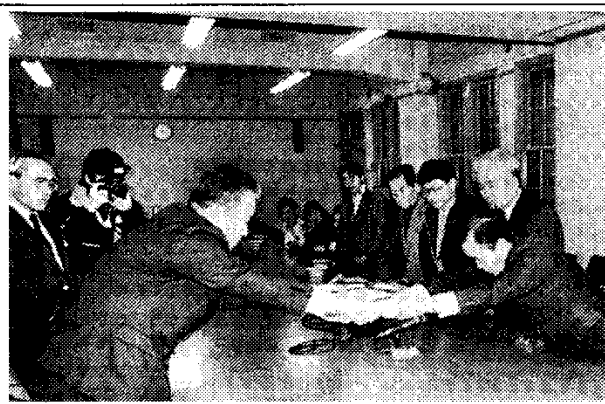
3800人 署名添え 環境改善も要求

「東九条」は同駅の南東約五百メートルの東・南岩本町、北・南河原町の四町からなる地域。戦後、駅南側にヤミ市がごろから特に若い世代の人口流出が続き、五十年に約五千五百人だった人口は、現在は三分の一の千八百七十人。高齢者の比率が高まり、一人暮らしの老人世帯が二六％に達している。また、比較的低所得の住民が多いため、家屋は古くなる一方で、火事になったときに危険な家が多く、最近の十年間の火事で二十人が死傷、多くの人が焼け出されている。

区改善中・長期計画（案）を作成した。

一方、市の京都駅南口再開発計画などの余波で、昨年春から東岩本町内で暴力団関係の不動産業者による地上げの手が伸び、二十八世帯が立ち退きを迫られ、四町内の他の数カ所でも不動産業者が土地を買ってあちこちに空き地が口立ち、住民たちを不安に陥らせている。こんな状況に、住民たちも「自分たちが住み慣れたまちを守る」と、昨年十月、署名活動を開始した。

この日は、同委員会のメンバー約四十人が市役所を訪れ、「住民の居住権を守るための法律により、地上げに対する規制を行うこと」「地域に現存する老朽家屋などを市が買収し、地域内に市営住宅を建設すること」など四項目を求めた請願書と署名を山辺明之市長あてに提出した。



地上げなどへの対策を求め署名を提出する「東九条改善対策委員会」の住民ら

これに対し市は「東九条地区住民の生活上の実態は、憲法に規定する基本的権利、並びに社会福祉にかかわる重要な社会問題」とし、四十三年から三回にわたって大学の研究者らに委託して実態調査を繰り返したが施策は大きく立

地上げ規制の請願書

京都駅前の住民提出
京都市がJR京都駅前で進めている市街地再開発計画が誘い水になった地上げによる被害を受けている、同駅南東

の四町の住民で作る「東九条改善対策委員会」は十七日、地上げ規制や市営住宅建設など、住民の居住権を守るための対策を求める請願書と、地域住民ら三千八百六十五人分の署名を京都市に提出した。

900118毎日

東九条市営住宅



南岩本市営住宅



南高瀬川市営住宅



北河原市営住宅



京都市地域・多文化交流センターと東岩本市営住宅



世界の料理教室(ボリビア料理)





登録団体連絡会議



東九条地域・多文化交流夏まつり(登録団体間の連携)



東九条春まつり(オープニング)



東九条春まつり(登録団体による出店)



有難うございました。

お疲れ様でした。